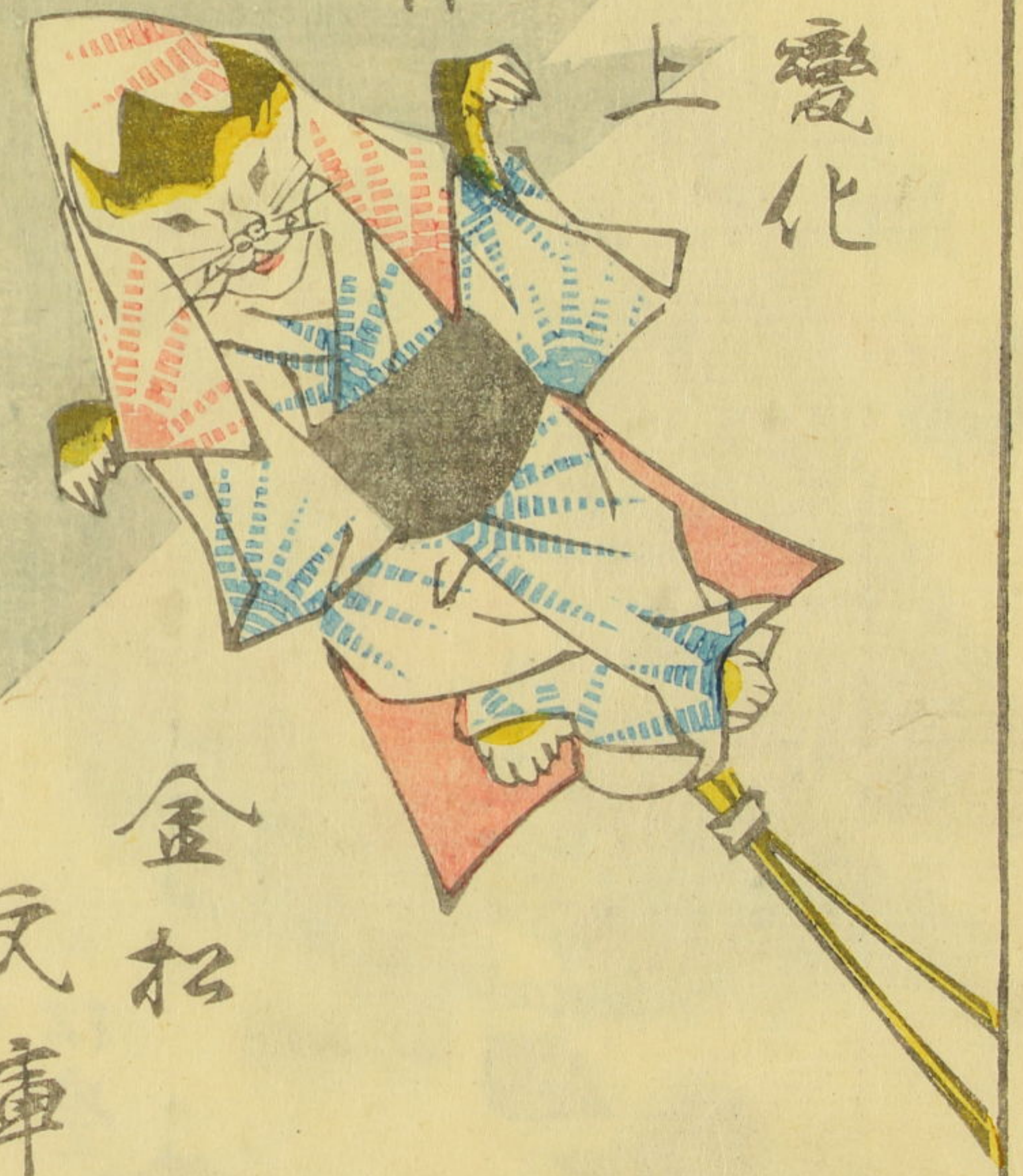


^ 13
3689
17



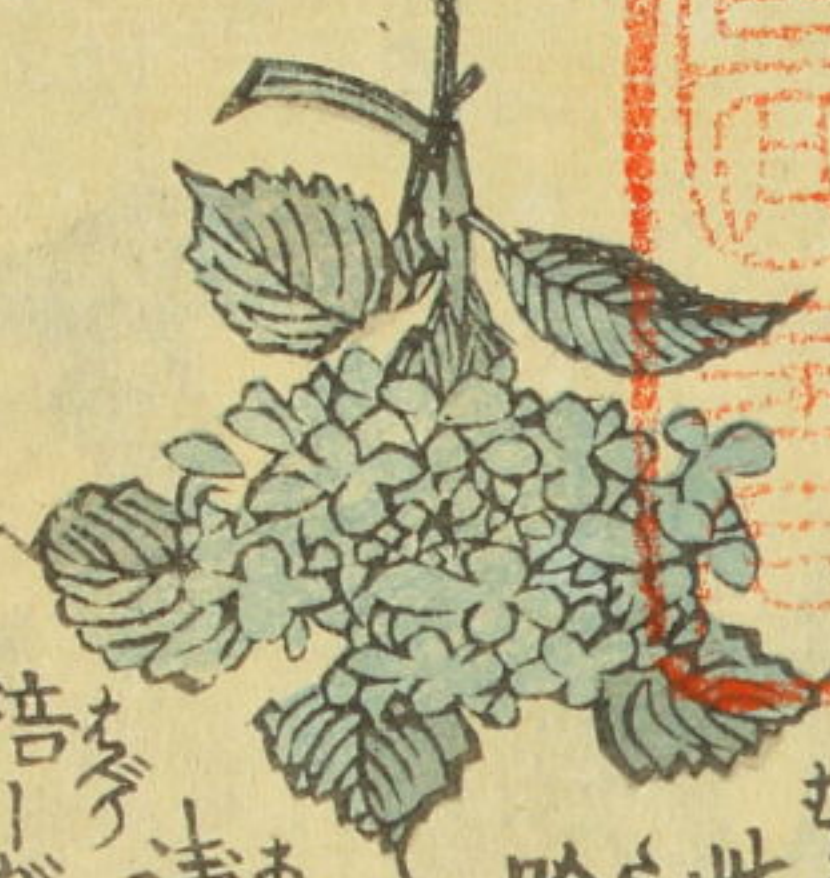
門 へ13
 3689
 卷 17

金花七變化
 十七編上
 秀賀作
 國貞画
 乙丑春



金松

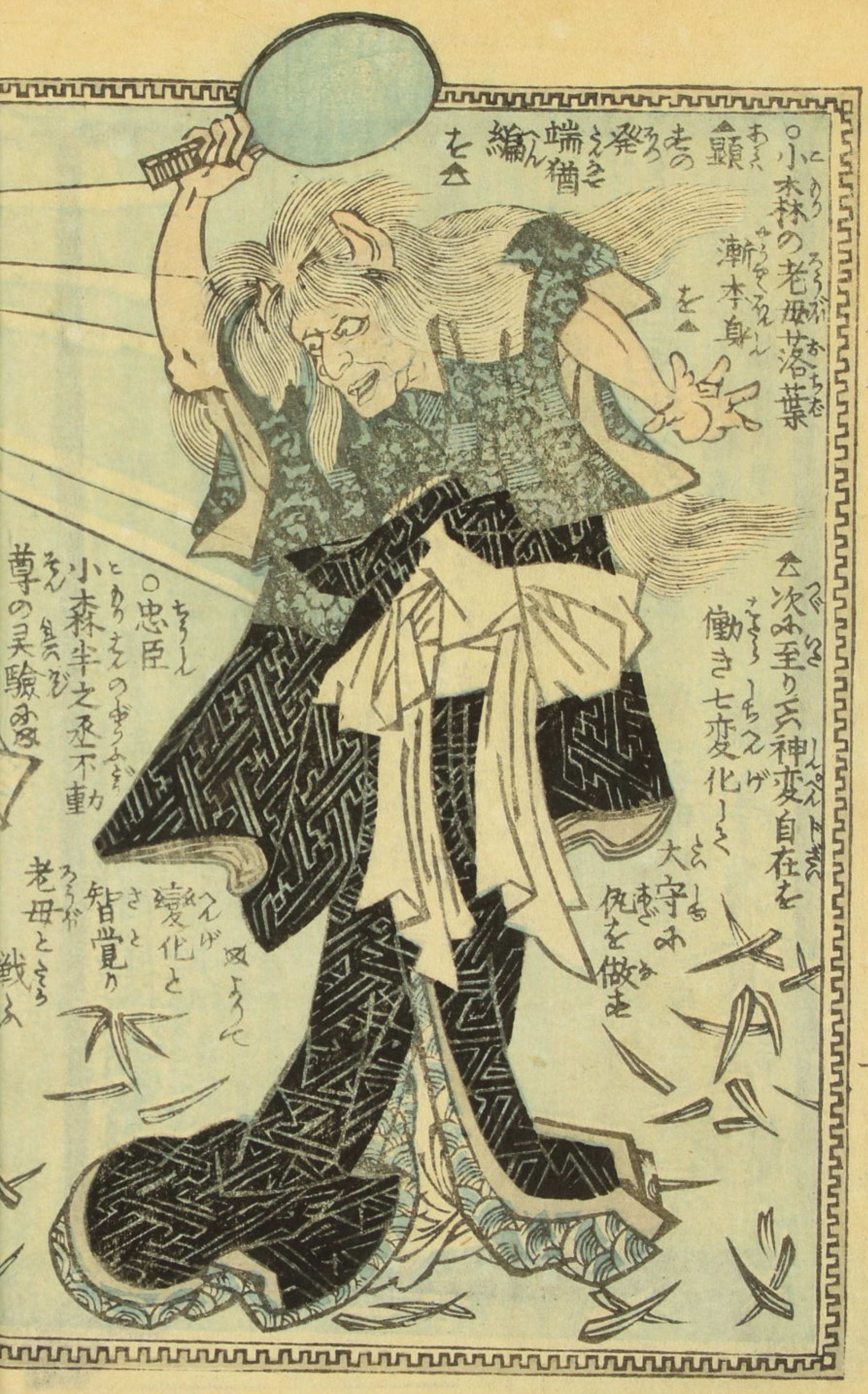
天庫



東菴坊百花の賦の賦小桃の壁言一赤漆右衛門其容色殆皆過方
 迎栄花物語を譽む其頃薔薇の花小喻て清少納言を憎と枕
 の草紙此等の文章小便有迎俳諧之人者情惑ぬと言り去迎
 紫式部と言花ハ実小紅白之色小紛む和漢小
 喻花色と源氏物語の評判尤高と文操
 別録志一亦同書小紫陽花ハ泡の
 浅黄多此花ハ七變化の名小立て薄柿の洒落也見
 陪一果者乾菴小深鼻と有を僥倖金花小附會
 視る小其色薄柿多迎乾菴ハ當と無暗小祝一稿を脱す
 元治起元甲子歲稿成
 同元丑歲孟春癸市

鶴亭秀賀識





小
木
林
の
老
母
落
葉
漸
本
身
を

次
み
至
り
神
変
自
在
を
働
き
七
変
化
し

大
守
み
仇
を
做
す

忠
臣
小
森
半
之
丞
不
動
尊
の
天
験
也

變
化
と
智
覺
り
老
母
と
さ

○月形九四郎賢吉古川檢校が
怨魂の為み盲人と多擡擡の
四吾市と呼ば東海
道を呻吟ふ

道を呻吟ふ



○水菴の

秘藏娘

井藻の花

善悪

貞不貞を
知らぬ

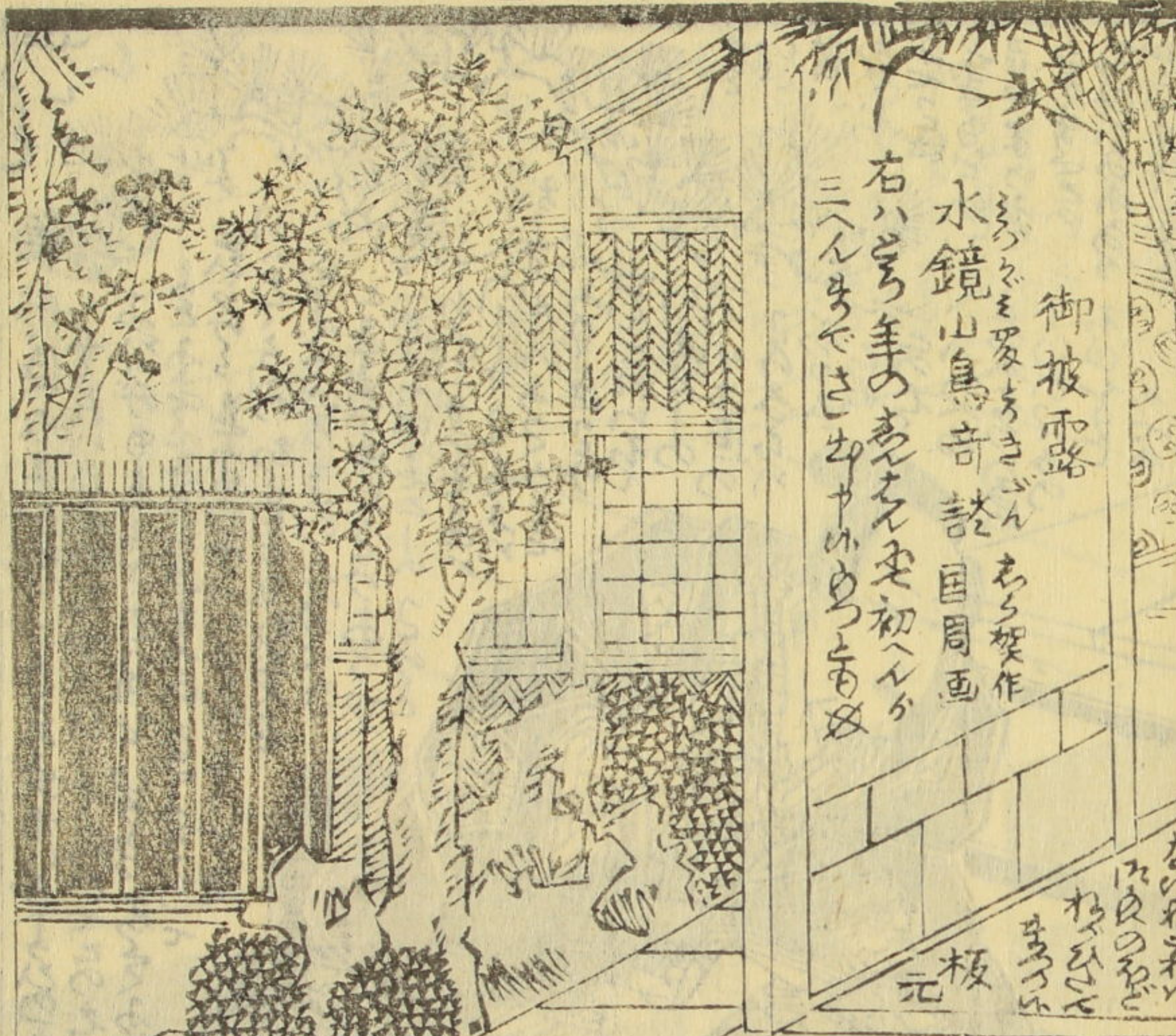


○古川
檢校の舎弟

藪医師

古川水菴不義の

富を
浮雲
の上極め
遊戯



御披露

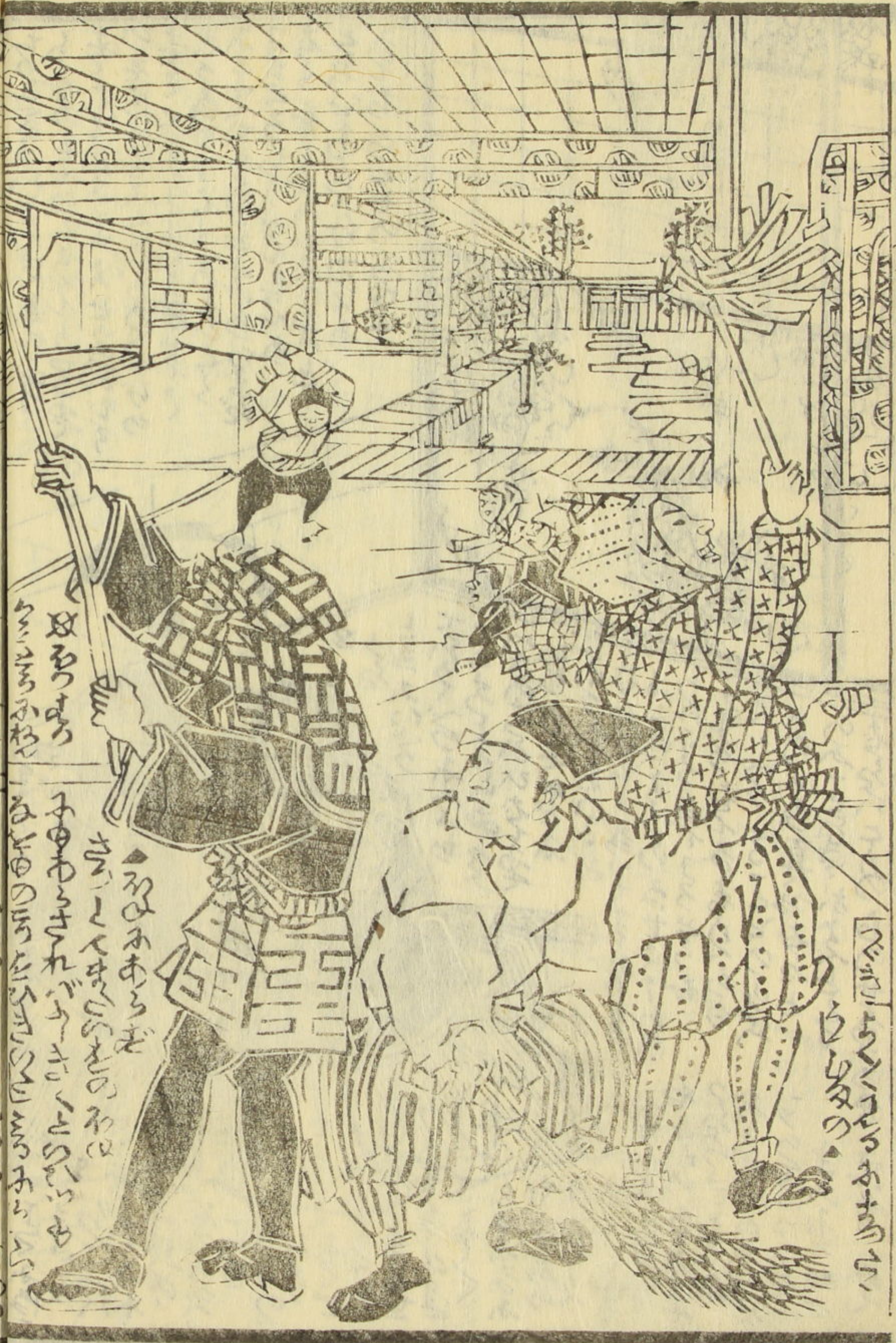
水鏡山鳥奇誌 国周画

右ハ羊の巻を巻初ハハガ
三ハんきでさしゆゆゆゆも

板

元

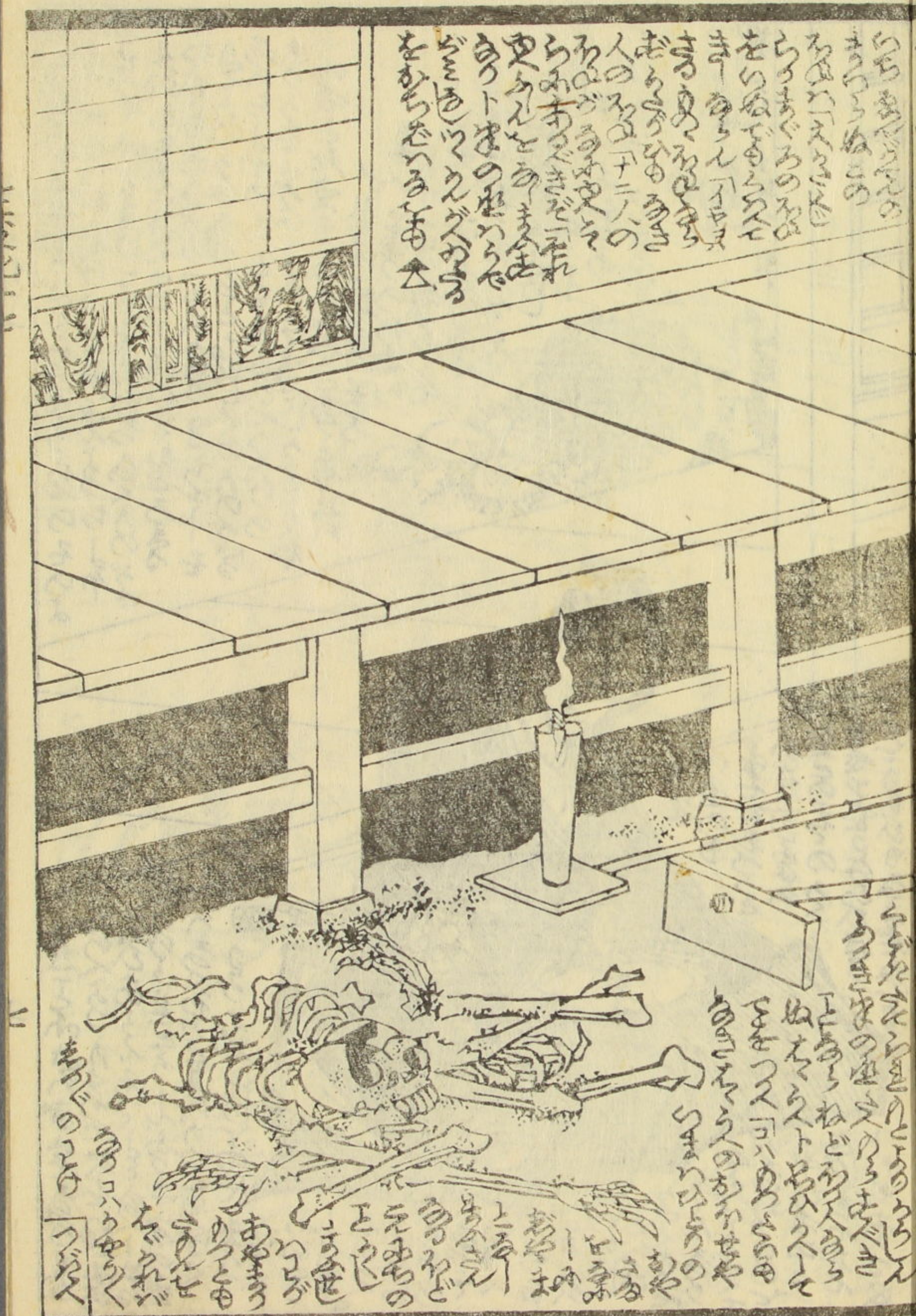
のれい
 はのり
 ねん
 まつ
 板
 元
 右ハ羊の巻を巻初ハハガ
 三ハんきでさしゆゆゆゆも
 御披露
 水鏡山鳥奇誌 国周画



七変化十七

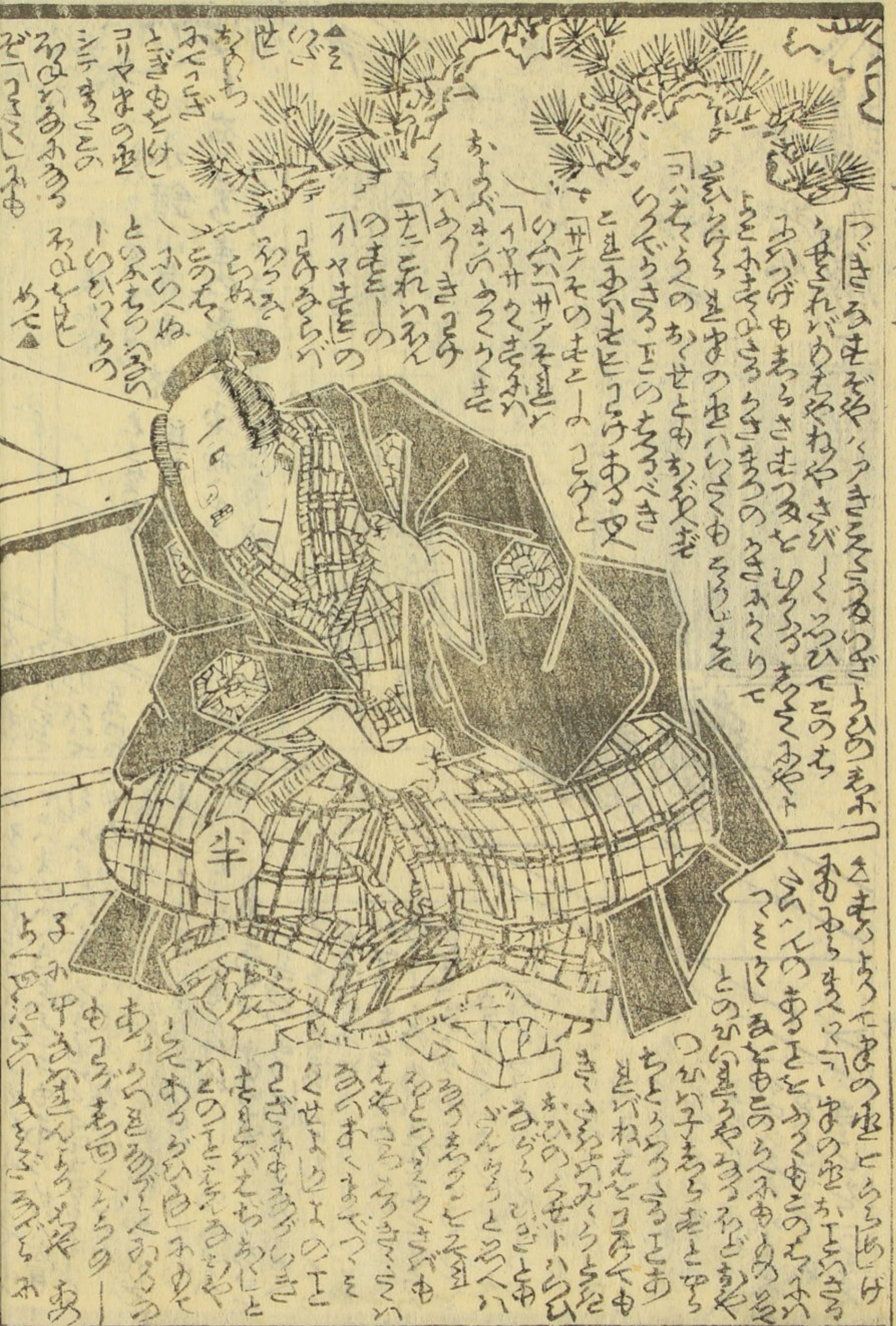
五

御披露
 水鏡山鳥奇誌 国周画
 右ハ羊の巻を巻初ハハガ
 三ハんきでさしゆゆゆゆも



あやむき
あやむき
あやむき
あやむき
あやむき
あやむき
あやむき
あやむき
あやむき
あやむき

あやむき
あやむき
あやむき

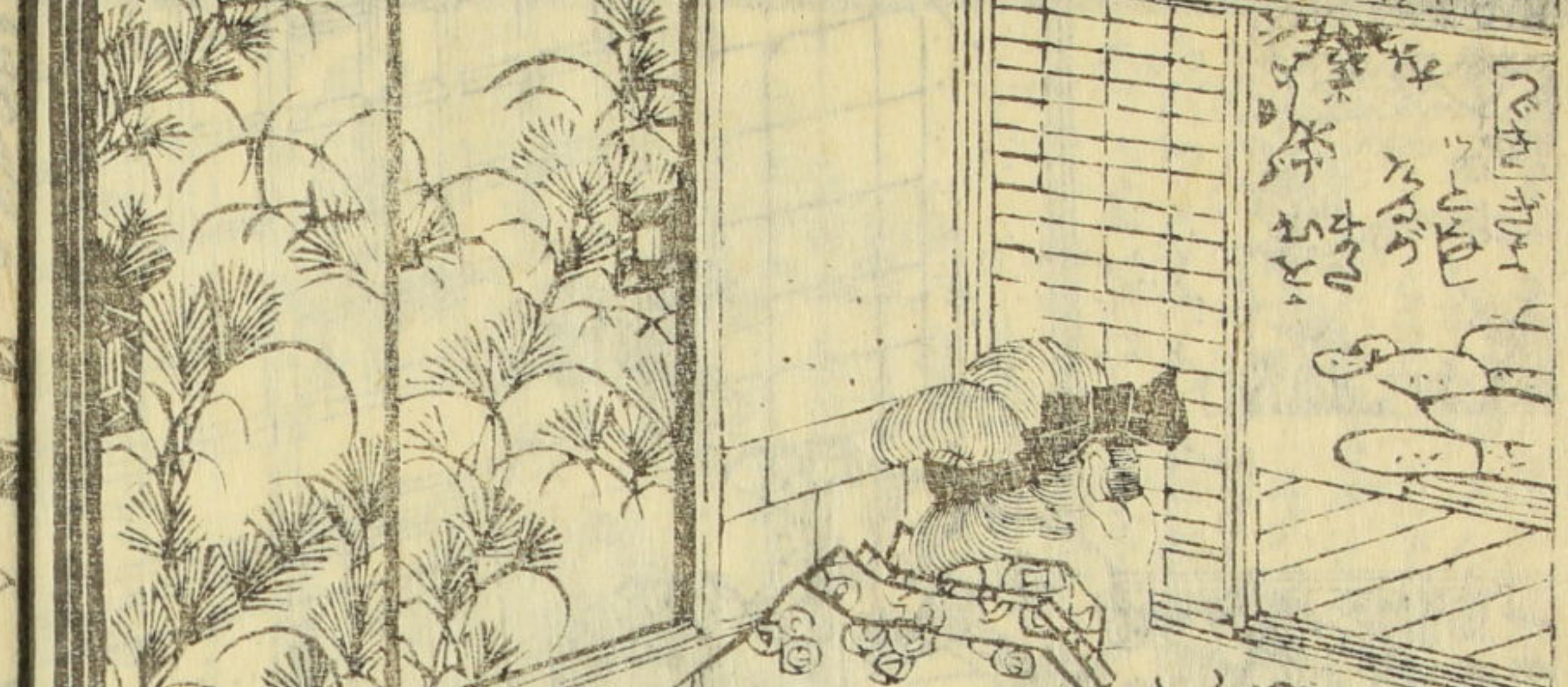
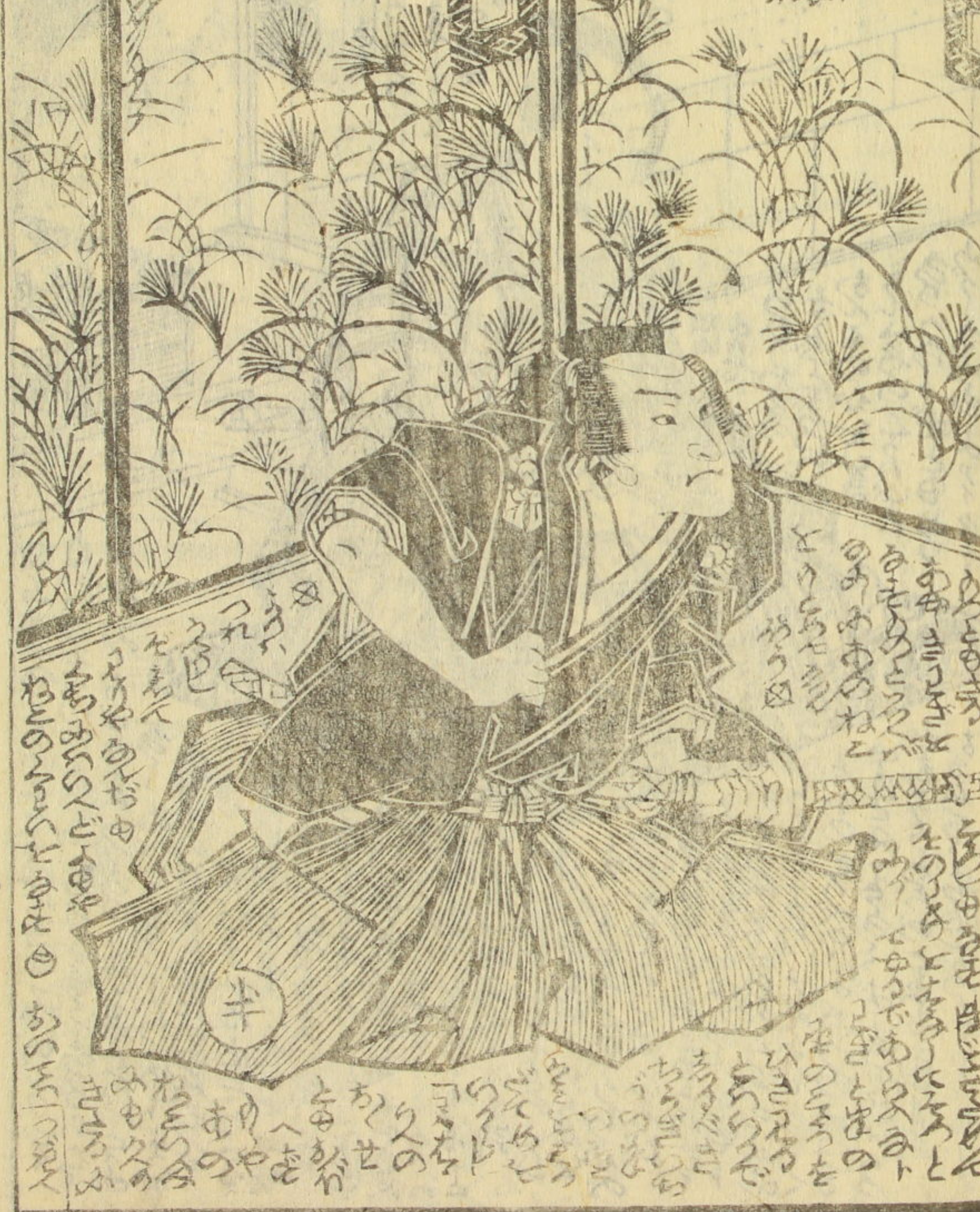


あやむき
あやむき
あやむき
あやむき
あやむき
あやむき
あやむき
あやむき
あやむき
あやむき

あやむき
あやむき
あやむき
あやむき
あやむき
あやむき
あやむき
あやむき
あやむき
あやむき

白虎通

雜姐... 白虎通...



Multiple columns of handwritten Japanese text surrounding the illustrations on the right page.



The illustration shows a woman seated on a tatami mat, wearing a kimono with a prominent grid or plaid pattern. She is looking towards the left. In the background, there is a window with a decorative lattice and a vase with a willow-like plant. The scene is set in a traditional Japanese interior.

Text blocks are interspersed around the illustration:

- Top left: 乙のちーがー... 乙のちーがー... 乙のちーがー...
- Top center: 乙のちーがー... 乙のちーがー... 乙のちーがー...
- Middle left: 乙のちーがー... 乙のちーがー... 乙のちーがー...
- Middle right: 乙のちーがー... 乙のちーがー... 乙のちーがー...
- Bottom right: 乙のちーがー... 乙のちーがー... 乙のちーがー...



The illustration depicts two women. One woman stands on the left, wearing a kimono with horizontal stripes. The other woman is kneeling on the right, wearing a kimono with a dense, repeating floral or geometric pattern. They appear to be in conversation. The background shows a window with a lattice and some foliage.

Text blocks are interspersed around the illustration:

- Top left: 乙のちーがー... 乙のちーがー... 乙のちーがー...
- Top center: 乙のちーがー... 乙のちーがー... 乙のちーがー...
- Middle left: 乙のちーがー... 乙のちーがー... 乙のちーがー...
- Middle right: 乙のちーがー... 乙のちーがー... 乙のちーがー...
- Bottom right: 乙のちーがー... 乙のちーがー... 乙のちーがー...



上の巻へく
とつるの
またあ
又ま
どかん
あま
つる
ひ

かま
あま
とま
かま
あま
とま
かま
あま
とま

あま
とま
かま
あま
とま
かま
あま
とま
かま
あま
とま

三十一



あま
とま

あま
とま

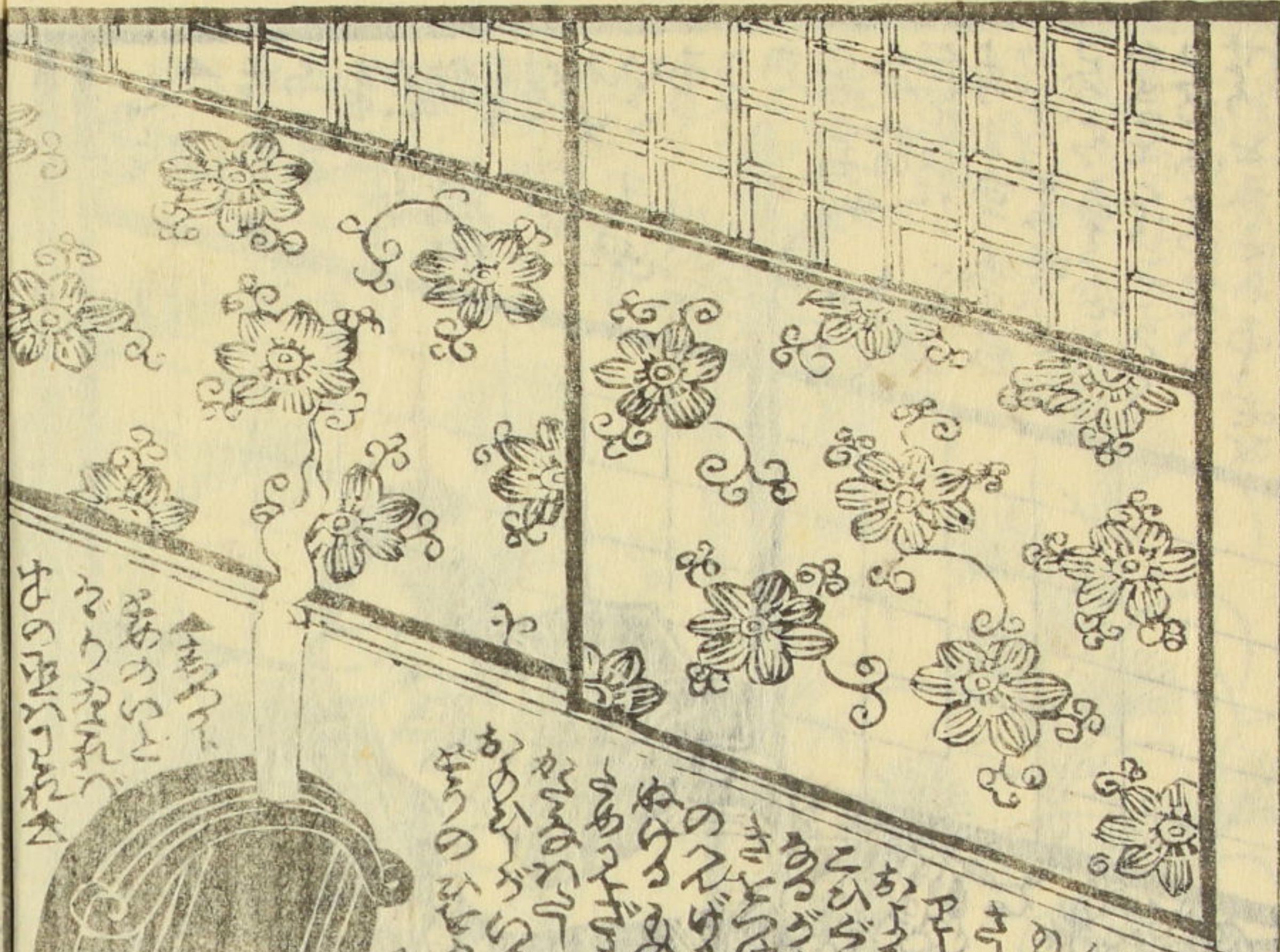
あま
とま

あま
とま

あま
とま

あま
とま

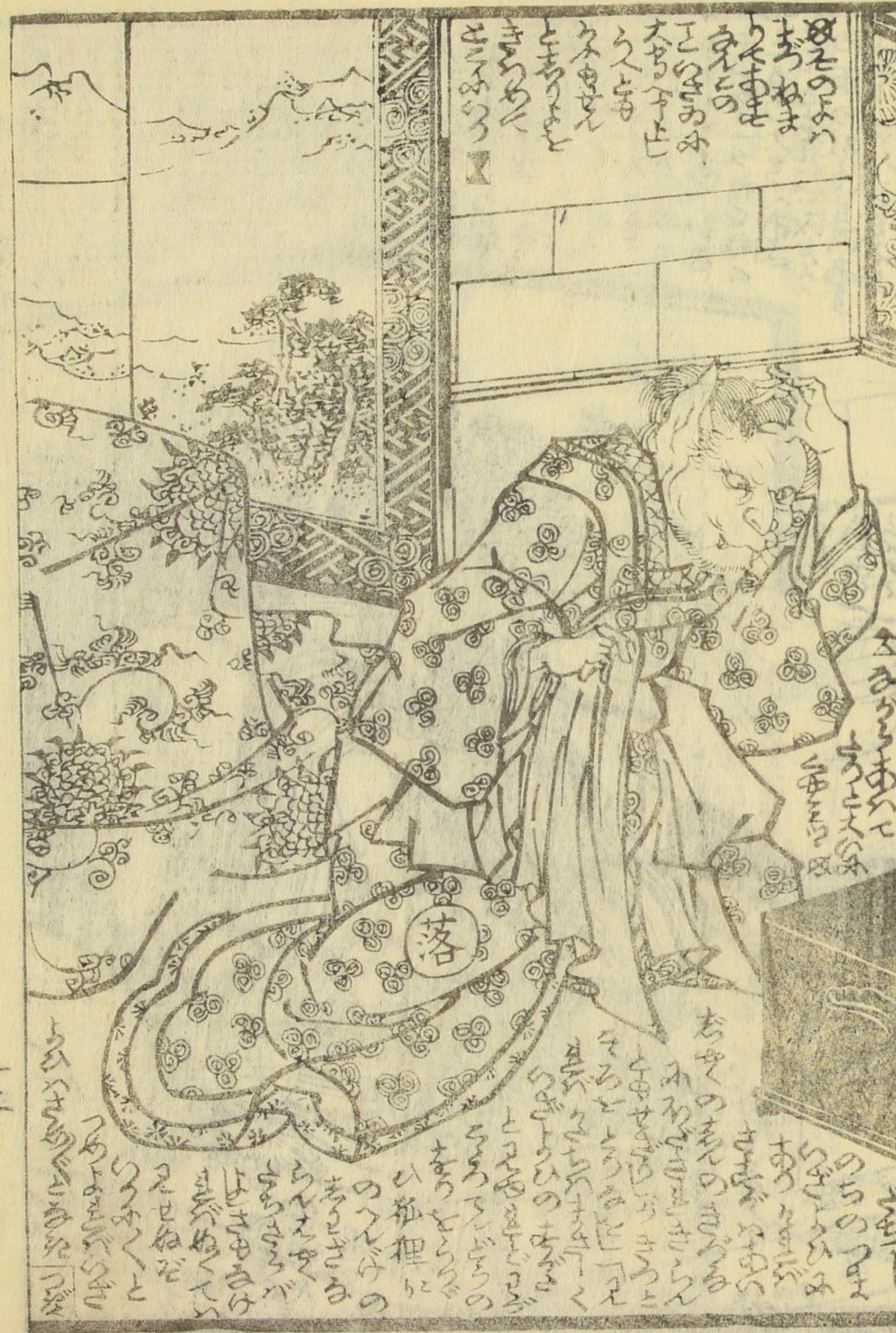
あま
とま



おののち
まろねま
みえの
このまおか
大おのち止
うんち
うんち
まろねま
おののち

おののち
まろねま
みえの
このまおか
大おのち止
うんち
うんち
まろねま
おののち

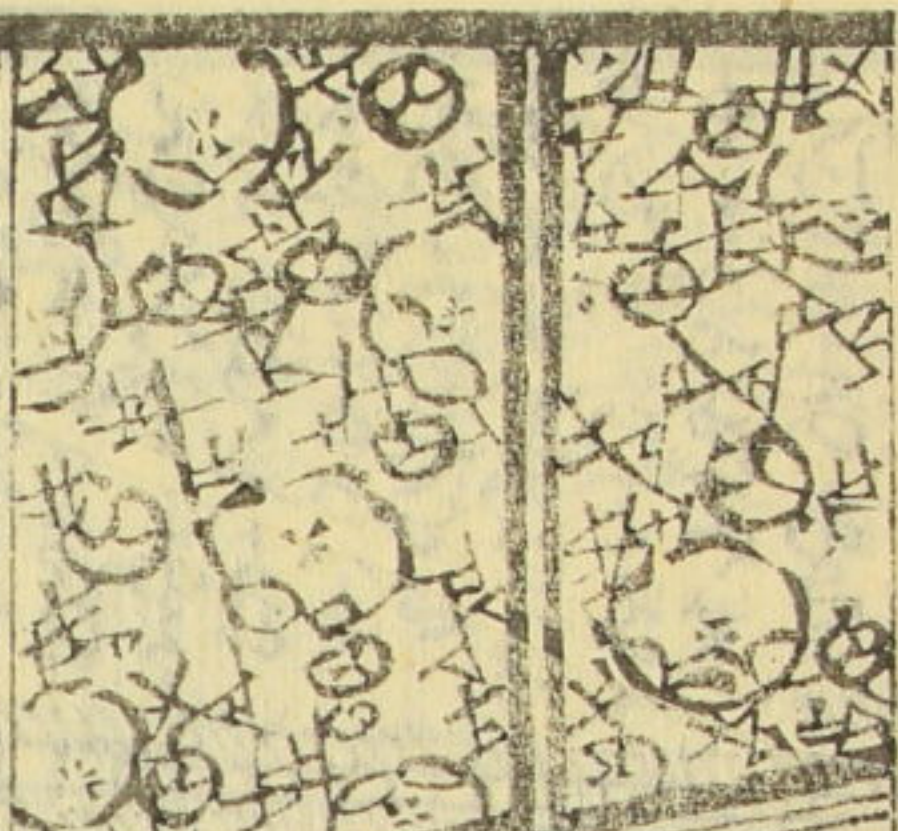
おののち
まろねま
みえの
このまおか
大おのち止
うんち
うんち
まろねま
おののち



おののち
まろねま
みえの
このまおか
大おのち止
うんち
うんち
まろねま
おののち

落

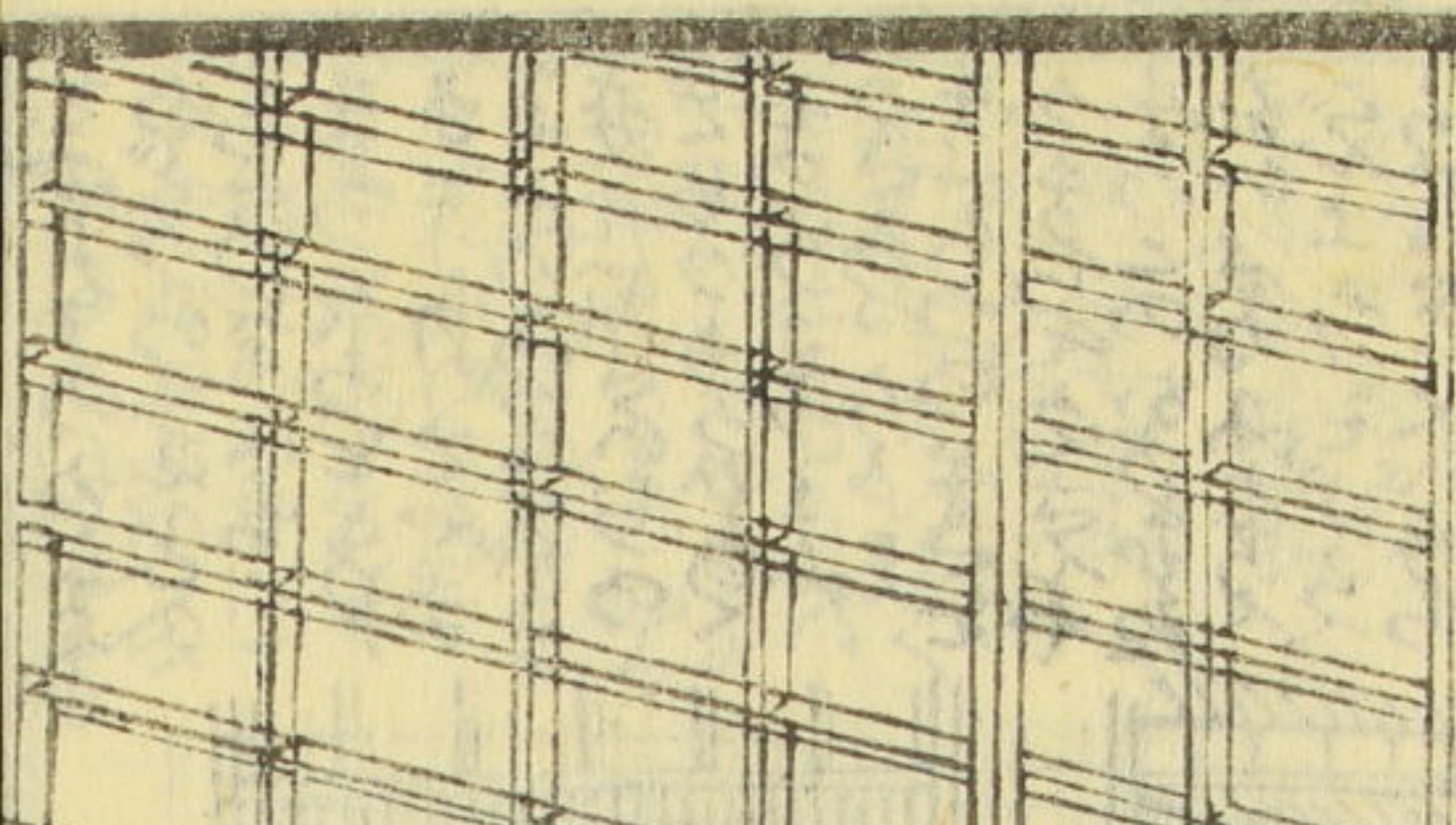
おののち
まろねま
みえの
このまおか
大おのち止
うんち
うんち
まろねま
おののち



あはれなるおのこ
あはれなるおのこ
あはれなるおのこ
あはれなるおのこ
あはれなるおのこ
あはれなるおのこ
あはれなるおのこ
あはれなるおのこ
あはれなるおのこ
あはれなるおのこ

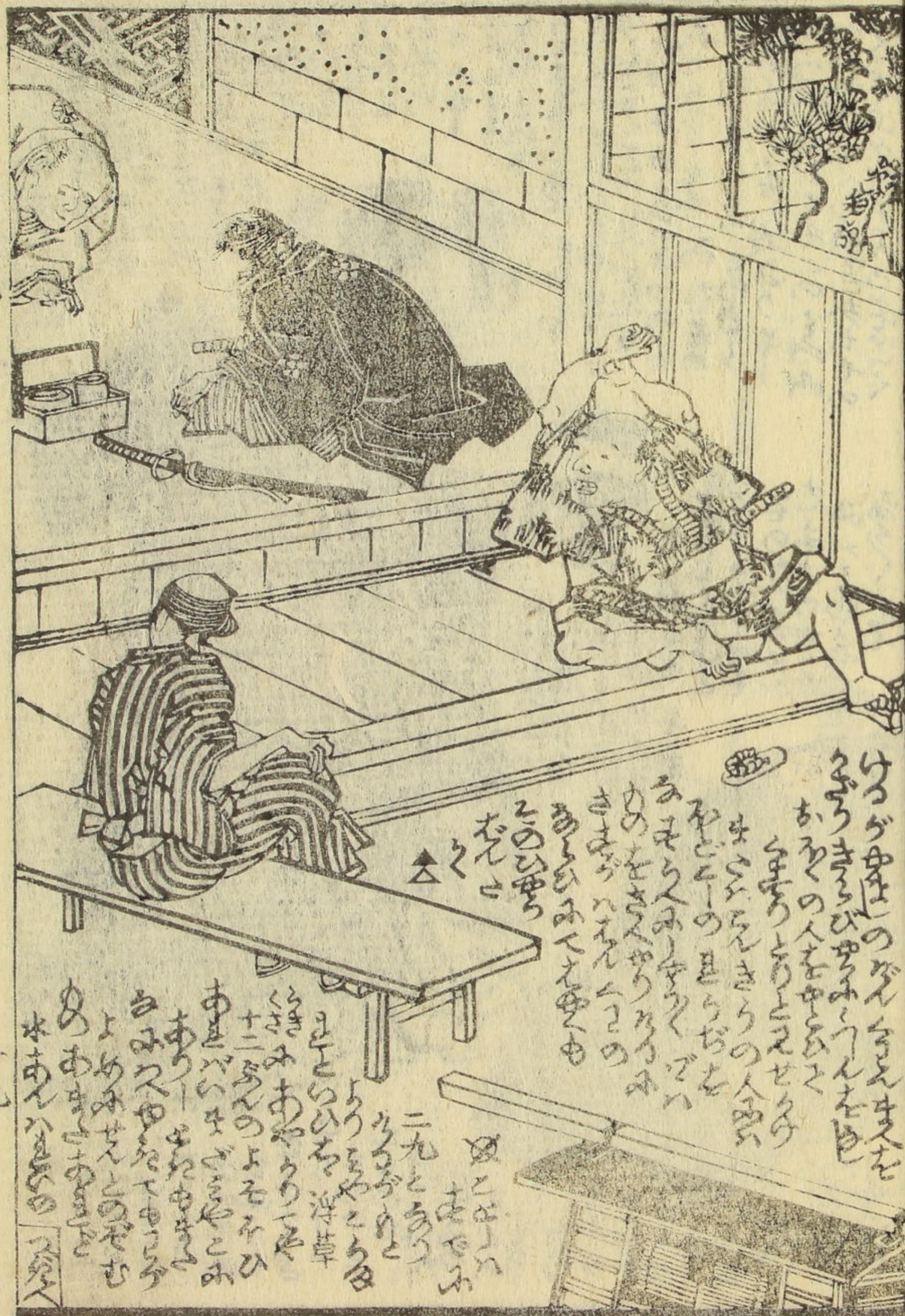
あはれなるおのこ
あはれなるおのこ
あはれなるおのこ
あはれなるおのこ
あはれなるおのこ
あはれなるおのこ
あはれなるおのこ
あはれなるおのこ
あはれなるおのこ
あはれなるおのこ

あはれなるおのこ
あはれなるおのこ
あはれなるおのこ
あはれなるおのこ
あはれなるおのこ
あはれなるおのこ
あはれなるおのこ
あはれなるおのこ
あはれなるおのこ
あはれなるおのこ



あはれなるおのこ
あはれなるおのこ
あはれなるおのこ
あはれなるおのこ
あはれなるおのこ
あはれなるおのこ
あはれなるおのこ
あはれなるおのこ
あはれなるおのこ
あはれなるおのこ





けつがゆはのぞんをえんをえんを
 せうまきびやふらうんをせ
 ありの人を中をひと
 さまのよりとえせうの
 まさのらんまきりの人ひ
 むごののきりぢぢぢ
 むさう人ひやうぢぢぢ
 ひのせえんやうぢぢぢ
 さまぢぢぢぢぢぢぢぢぢ
 あらひひてをせゆ
 このひぢぢ
 ぢぢぢ



けつがゆはのぞんをえんをえんを
 せうまきびやふらうんをせ
 ありの人を中をひと
 さまのよりとえせうの
 まさのらんまきりの人ひ
 むごののきりぢぢぢ
 むさう人ひやうぢぢぢ
 ひのせえんやうぢぢぢ
 さまぢぢぢぢぢぢぢぢぢ
 あらひひてをせゆ
 このひぢぢ
 ぢぢぢ

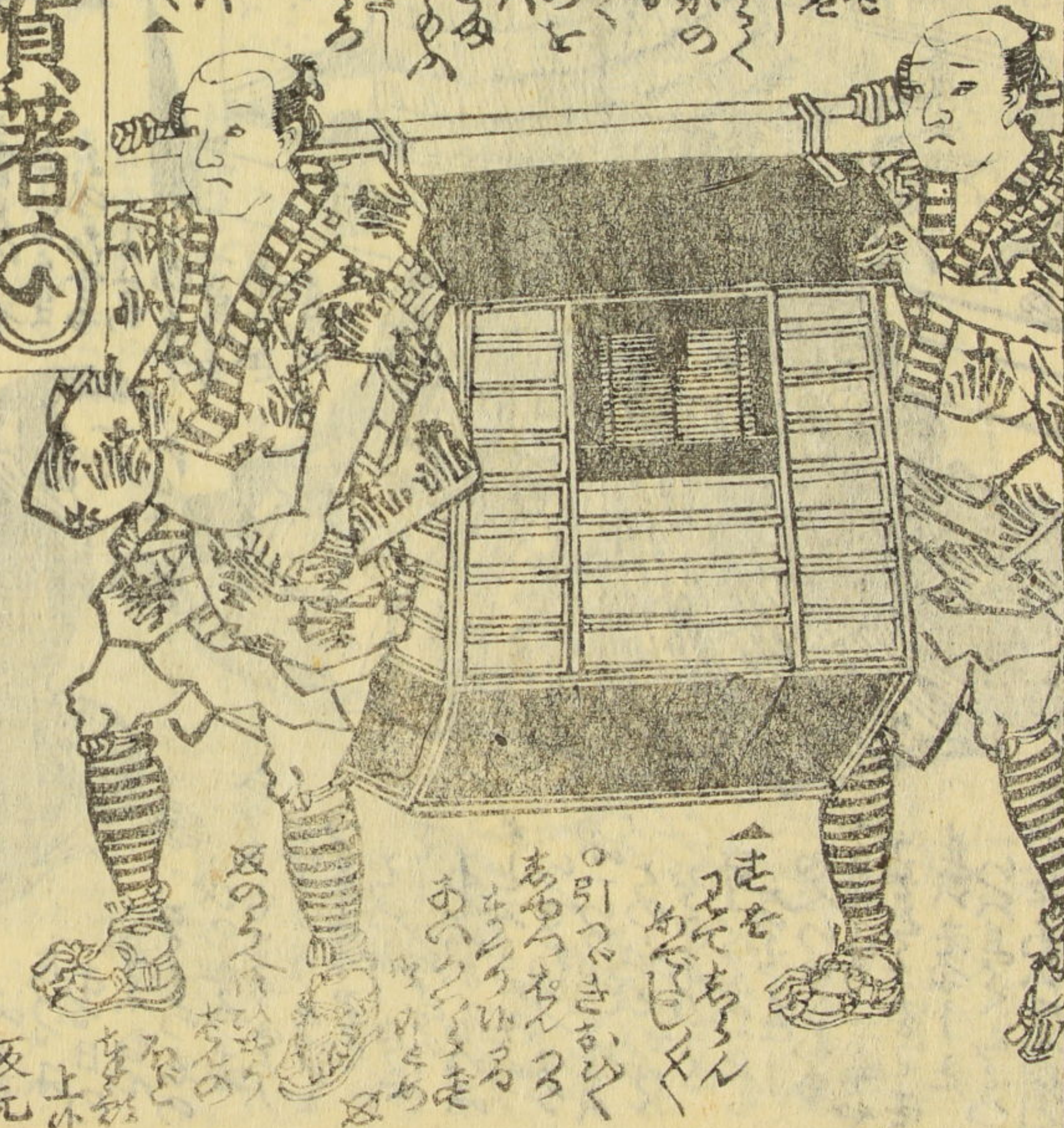
七
 七
 七

元治二年乙丑初秋開版目錄

棋蝶樓國貞画

つぎあつての
 そとあつての
 たまはるき
 きよめ
 せりじつ多
 りふつ
 かにえ
 その
 うら
 おも
 の
 あ
 ろ

鶴亭秀賀著



板元

江戸
 飯島啓三郎謹製
 武田膏
 小貝二十銅
 中貝四十八銅
 大貝百元

神
 氣の毒け小兒五元諸病よし
 一角九
 調合所 上總国 東金町 大野傳五衛

文
 地本 問屋 金松堂
 双紙

周防漆櫻模様
 四編 貞雅作
 五編 國貞画

梅春霞引始
 三編 魯文作
 讀切 國周画

濡衣女鳴神
 十編 秀賀作
 讀切 國貞画

假枕巽八景
 二編 魯文作
 讀切 國周画

道外江戸名所
 大錦繪
 五十枚 廣景画

横山町三丁目
 辻岡屋文助梓

